



231名が名取北高を巣立つ

3月1日、令和5年度第43回卒業証書授与式が無事に挙行されました。新型コロナの感染が続いた頃に入学し、様々なことが制限された高校生活を2年間過ごした学年でしたが、今年度は2年生にも見守られながら名取北高校を巣立っていきました。



校長式辞 要旨 宮城県名取北高等学校 校長 石墨 安洋

先日、岩手県の盛岡市を訪れる機会があり、その時に「もりおか啄木・賢治青春館」を見学してきました。どちらも皆さんもよく知っている通り、岩手県が産んだ著名な文学者です。二人の歴史と様々な作品が飾られている中で、一つの作品が目にとまりました。それは、宮沢賢治が自分の母校の岩手県立盛岡中学校、現在の盛岡第一高等学校の後輩たちに向けて書かれたとされる「生徒諸君に寄せる」という一編の詩でした。未完成の原稿しか残されていなかったとのことですが、賢治の弟によって死後に原稿を並べ替えて、整えたものが昭和二十一年の「朝日評論」に発表されて、広く読まれたそうです。不覚ながらも私はこの詩の存在をその場で初めて知りましたが、改めて鑑賞してみると、八つの章に分かれたそれぞれのつながりは確かにあまりよくはないと思えました。しかし、有名な童話作品である「銀河鉄道の夜」を想起させるような広大な宇宙を思わせる一文があるかと思えば、農学校教員であったことから死の間際まで農民達に農業指導を行っていたことにつながる一文もあり、一つ一つの章に込められた後輩達への賢治の熱い想いが伝わるものとなっていました。

ここでは、その編纂された作品の中から七番目の詩を饞の言葉として贈ろうと思います。

断章七

新たな詩人よ 嵐から雲から光から 新たな透明なエネルギーを得て 人と地球にとるべき形を暗示せよ
新たな時代のマルクスよ これらの盲目な衝動から動く世界を 素晴らしく美しい構成に変へよ
諸君はこの颯爽たる 諸君の未来圏から吹いて来る 透明な清潔な風を感じないのか



明治・大正そして昭和の初期の時代を生きた文人の詩ですが、混沌としている令和の現代への提言をしているかのようにも読め、そしてこれから社会に出て活躍が期待される若人への激励の言葉が当然のように綴られています。

私はこの学校に着任した際に、経営方針として「society5.0の時代に生きる人間力豊かな人材の育成」を掲げさせてもらいました。情報化社会と呼ばれている society4.0の現代は情報を的確に扱える技能を持っているものがどちらかといえば優遇される時代でもあります。ところが今後期待されている社会変革は我々がテクノロジーに従うのではなく、テクノロジーが人間に寄り添ってくれる社会、誰もが高度な知識や技能に頼ることなく、人間がより人間らしく生きられる社会を、AI技術を始めとする様々なテクノロジーで実現していこうとしています。そのような社会では賢治が求めたような、人としての生きる力を豊かに持ち得る人材が求められてくることになると思うのです。

卒業生の皆さん、本校の校訓にある、皆さんの制服にも刻まれている人間愛、創造、貢献、この三つの言葉はこれからの時代を生きる上で重要なキーワードになると思います。約半世紀前に本校を創設した初代校長先生の思いはこれからの新しい時代にも大切にすべきものであり、その言葉のもとで三年間を過ごしてきたことを皆さんは自信としてください。そして、この詩の最後に記されていた未来圏から吹いてくる透明な清潔な風を感じながら、新しい世界に旅立ってくれることを願っています。

さて、最後にこの式典に参列して下さった御家族の皆様方、改めましてお子様の高等学校御卒業おめでとうございます。民法が改正され十八歳で成人年齢となったこともあり、卒業生の多くは自らの行動を自らで決定できる権利を得ると同時に社会的な責任を負うべき存在となりました。しかし、一成人としてはまだまだ不安定な部分を抱えておりますので、今後も彼らの考えに向き合っていただき、社会の先駆者としてその進むべき道とともに歩んでいただけることを願い、私からの式辞としたいと思います。

卒業生答辞 卒業生代表 小野寺 瑠唯

寒さの中にも春の温かさを感じる日が増えてきた今日この頃、私達は卒業の日を迎えました。本日は多数のご来賓の方々のご臨席を賜るなか、私達卒業生のためにこのような盛大な式を挙げて頂き、卒業生一同、心より御礼申し上げます。

私達231名は3年前、不安や期待を胸に名取北高等学校に入学しました。全員がマスク姿のなか、親のいない教室での入学式から始まったのを昨日のこのように覚えています。それから瞬く間に時は過ぎ、今日の日を迎えました。思い返してみると、3年間過ごしてきた中で心に残る行事がたくさんありました。

まずは県総体と中間考査が終わった後の夏に行われる体育祭。クラス対抗で競い合うことで、今まで知らなかったクラスメイトの一面を新たに知るきっかけとなり、毎年それを機にクラスの仲が深まってきました。夏休み明けに行われる文化祭では、学年が上がるにつれ、新型コロナウイルスの感染拡大防止のための制限も次第に緩和されていきました。3年生になった今年度は飲食や在校生以外の来校も自由となり、私達が1年生の時に始まった花火の打ち上げは、恒例のようになりました。たくさんの人に私達の頑張っている姿を見せることができるようになった中で私も参加したステージ発表。準備の段階では成功させることができるか不安でしたが、当日までの準備期間はいいものを作り上げようというみんなの気持ちが集まり、練習や準備に取り掛かっていました。本番は体育館全体が一体となり大いに盛り上がりました。みんなで協力し、やり遂げた感動を、全校生徒での盛り上がり、今でも鮮明に覚えています。

私にとっての高校生活は、常に自分探しをしているようなものでした。なりたい将来像に向かって勉強に励みながらも、部活動を積極的にに行い、生徒会活動にも尽力しました。すべてのことを両立しながら学校生活を送るのはとても大変でした。何かを頑張りすぎてしまうとほかのことをおろそかにしてしまうことも幾度となくありました。自分の中の軸を失ってしまい本当になりたいものが何なのか、分からなくなったこともありました。志望校の大学を決めるのも直前まで悩みました。しかしどんなときも近くで支えてくれた先生方、友人、そして親のおかげでここまでこうしてやり遂げることができました。周りの方々には感謝の気持ちでいっぱいです。どんな質問や相談にも優しく、丁寧に応えてくださった先生方、本当にありがとうございました。先生方の助言があったおかげで私達はここまでこうして成長することができました。これからも先生方に教えていただいたものを活かし頑張っていきます。

私達は高校生活でたくさんの時間をクラス、部活の友人と共に過ごし思い出を作ってきました。真正面からぶつかりあうことで互いのことを理解しあい、絆を深めてきました。様々な場面で仲間であると同時にライバルとして切磋琢磨してきました。中身の濃い充実した日々を送ることができたのはみんなのおかげです。中学時代には行けなかった修学旅行の思い出をみんなと作れたことは本当に幸せでした。ここ名取北高校でみんなに出会えてよかったです。

在校生の皆さん。皆さんとは部活動や委員会活動、生徒会活動や行事などを通して、たくさんのものを共に作り上げてきました。その中で私達が在校生の皆さんになにか残せたものはあったでしょうか。次はあなた達が下の世代に伝えていく番です。経験してきたものは学年それぞれに、人それぞれに違うと思います。誰かと同じような伝え方でも構いませんし、自分なりの伝え方で良いです。自分自身で正解を見つけていくこと。これが人生だと思います。皆さんのこれからの活躍を心から願っています。

そしてどんなときでも一番近い距離で支えてくれた親へ。ここまで18年間、なにがあってもいつでも味方でいてくれたおかげで、私達はここまで成長することができました。部活や勉強で忙しい時もやさしく支えてくれたこと、生涯忘れることはないと思います。そして今日、高校の卒業式を迎えることができました。3年前、6年前と比べ、私達の背中はずっと近くで見守っててください。私達231名は今、新たな門出の時を迎えています。それぞれの道从这里から歩いていくことになります。どんなに険しい道でも、私達ならきっと新たな一歩を力強く歩いていくことができるはずです。どんな時も一人ではないということ、仲間がいるということ、仲間とともに作ってきた多くの思い出、学び、誇りを胸に歩いていきましょう。

最後になりましたが私達の高校生活を支えてくださったすべての方々へ卒業生一同、心より御礼申し上げます。ここでの経験は私達の大切な財産です。学んだことを進路先でも活かし地域の発展に貢献することで名取北高校、お世話になった先生方や地域の方々への恩返しをしたいと思います。先生方のご健康と、名取北高校のますますの発展を心より祈念して答辞といたします。



年度末の予定

- 15日(金) 1,2校時個人写真撮影
- 5,6校時進路ガイダンス
- 18日(月) 1~6校時 英数国課題テスト
(スタディサポート)
- 19日(火) 1~4校時通常授業
- 21日(木) 1~4校時通常授業

- 22日(金) 大掃除・表彰式・終業式(午前)
- 25日(月)~4月5日(金) 春休み
- 28日(木) 離任式・退任式 新クラス発表
生徒登校9時30分
新教科書受取



※支払いはコンビニ振込